

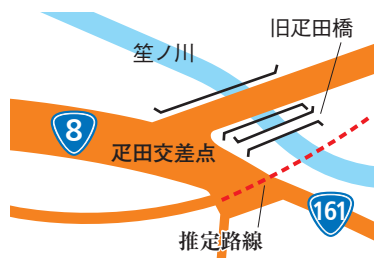
旧柳ヶ瀬線

(2)

「つるがの四季」101号で旧国鉄の旧柳ヶ瀬線の特集しましたが、その後、足田地区の筥ノ川にかかっていた鉄道橋の基礎部分が台風の後、全体を現しました。その様子と、小刀根トンネルの未掲載写真を紹介します。

足田の鉄道橋跡

柳ヶ瀬線は足田の市街地から筥ノ川を越えて曾々木方面に向かっていました。特集取材時には鉄道橋の橋脚を支えていた土台とみられる人工物が筥ノ川の上にわずかに姿を見せていました。ところが、昨秋改めて訪れたときには、台風で川の堆積物などが流され、全容をはっきりと見る事ができました。



3基見える「土台」。左が上流で、上流側がとがっている(曾々木方面から見る)



旧足田橋から。右側が足田市街

中央部(内側)に大きな石を詰めている



敦賀半島
ふるさと
紀行

小刀根トンネル

国道8号を滋賀県方面へ。足田を過ぎて、曾々木付近で左折。県道140号(敦賀柳ヶ瀬線)を進み刀根に近づく。道路右側に小刀根トンネル(56m)が見えてきます。

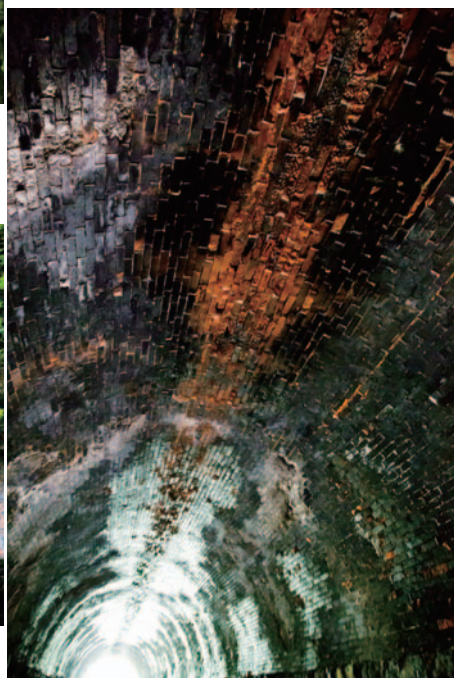
建設当時の姿を今に残している日本最古の鉄道トンネルです。レンガ造りの馬蹄形(ばていけい)の構造、内部のレンガ積み上げ部分などの手法にも当時の建設技術がうかがわれ、貴重な遺構だとして敦賀市の文化財に指定されています。



開通年「明治十四年」を刻んだ要石(入口最頂部)



トンネルの手前にある、筥ノ川にかかる橋。石積みの橋台などは鉄道時代のものを使用しているという



トンネル内の待避所